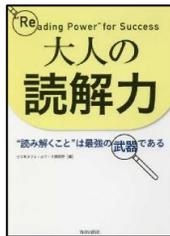




1・2月新着本案内

瀬木学園図書館



『大人の読解力』

ビジネスフレームワーク研究所編

本をどう読んだらいいかわからない、読んでも身につかないと思ったら、この本がおすすめです。読み解くコツを教えてください。(019.12/B42)



『保育・教育に生かすOrigamiの認知心理学』

丸山真名美編著

世界中で楽しまれているOrigami(折り紙)を研究しています。子どもの思考の発達や促進に生かすことができます。(371.4/マ)



『配慮を要する子どものための個別の保育・指導計画』

遠藤愛, 太田研著

子どもの行動を捉え、個別化された保育・教育支援の計画、カンファレンスの進め方が解説されています。(378.8/エ)



『インフルエンザ』

岩田健太郎著
感染症や健康の正しい知識と妥当性の高い情報を、著者が教えてください。この本のサブタイトルは「なぜ毎年流行するのか」です。まずはその疑問を解決してくれます。(493.8/イ)



『くらしと健康』

小塩隆士著
所得などによる経済格差の拡大で、人々の健康にも格差が生まれてきています。社会経済環境は、健康にどのような影響を及ぼすのか？大規模な社会調査のデータで解明しています。(498/オ)



『食育のウソとホント』

魚柄仁之助著
あやしい「食育」が多すぎるとはどういうことか。米食礼賛に待ったをかけ、和食には砂糖がいっぱいと訴えます。文献や写真とともに、痛快に近代の食文化が研究されています。(498.5/ウ)



『さくほろっしゅわわなゆかいなおやつ』

尾上由子著

このレシピ本に出てくるクッキーの特徴は、卵を使わない、身近な材料で作れる、ワンボウルで作れる、いい加減でもおいしい！(596.65/オ)



『風が吹くとき』

レイモンド・ブリッグズさく/さくまゆみこやく

もともとはイギリスで1982年に出版された作品です。核戦争の恐ろしさを描きベストセラーになり、今も読み継がれています。(726.6/ブ)



『姿勢と動きの「なぜ」がわかる本』

土屋真人著

「解剖学が苦手」「安全で健康なプログラムを作りたい」「介護予防に」などスポーツや健康づくりの指導者に役立つ本です。(780.19/ツ)

※新しいガイドブックシリーズ『COLOR+PLUS』

定番の観光地はもちろん、話題のスポットもおさえた国内旅行ガイドブックです。カラフルでかわいい新シリーズ！現在22冊刊行中です。(すべて受入済です。)

『札幌：小樽 美瑛 富良野』(291.09/カ)

『金沢：能登』(291.09/カ)

『広島 宮島：厳島神社』(291.09/カ)

『長崎：ハウステンボス 五島列島』(291.09/カ)

『石垣島：竹富・西表・宮古島』(291.09/カ)



※『未来の教育を創る教職教養指針』シリーズ



「現代日本の教師および教師志望の学生たちに寄せる教職教養指針」のテキストです。

順次刊行予定です。現在、2冊受入済です。

『教育原論』山崎準二編著(370.8/ミ/1)

教育の原理・原則を考察しています。

『発達と学習』鹿毛雅治編著(370.8/ミ/3)

発達と学習の心理的なあり方について考えます。



『トップアスリートが実践している最強の回復法』

富家孝著

疲れを「その日のうちにとる」ことが大事！！大成している選手はよく眠り、効率的に疲れをとる方法を知っているそうです。(498.3/F73)



『食べて治す医学大事典』

根本幸夫ほか監修
薬に頼らず、食べもので治す！家庭に1冊は置いておきたい本です。見出しが病気や症状なので分かりやすく、薬になる山野草・食べものの項目もあり、役立つ内容満載です。(498.58/ネ)



『贈る・飾る・使う折り紙の箱と小物』

丹羽兌子著

小さなギフト、オーナメント、インテリアなどで使える箱や小物の作り方の本です。かわいい箱に入った贈り物は嬉しいですね。(754.9/ニ)



『うさぎ小学校』

アルベルト・ジクストウス文
フリッツ・コッホ＝ゴータ絵：はたさわゆうこ訳

1924年ドイツで出版され、ドイツでは代表的な古典絵本です。人間の子どものように学校に行く子うさぎの様子にほっこりします。(726.6/ジ)



『日本語びいき』

清水由美文/ヨシタケシンスケ絵

「焦る」の命令形分かる？「先生」の読み方は本当に「センセイ」なの？日本語教師の視点から教えてくれる日本語です。ヨシタケさんの笑えるイラストがいい味を出しています。(810.4/シ)